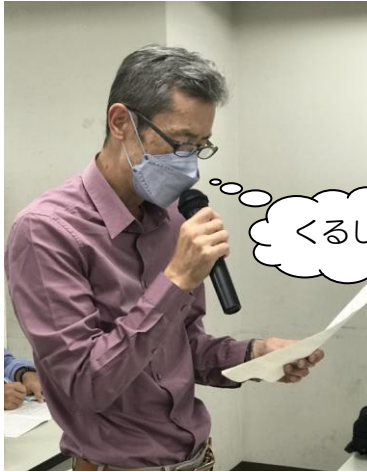


国労

蘇我運輸区分会ニュース

第75回定期地方大会②

10月16日（土）10時半～ 千葉教育会館



- 質疑・討論（発言）**
議題の報告、提案等に対して、9名の代議員より発言がありました。
- ① 佐倉（日向駅）
 - ② 蘇我運輸区（同）
 - ③ 新浦安（潮見駅）
 - ④ 大網保線（交通建設）
 - ⑤ 千葉運輸区（同）
 - ⑥ 新小岩保線（西船保）
 - ⑦ 木更津保線（千保技）
 - ⑧ 千葉機関区（同）
 - ⑨ 津田沼（同駅）
- 以上、発言順に分会名と（職場名）。

当分会から（竜崎）

この間、他労組と3回の交流をしてきた。社員代表選挙対策として始めたが、日頃の問題点など話し合う貴重な場となっている。様々な会社施策は、若い社員に不満と怒り、疑いの声が聞かれる。交流の場を通じて、組合未加入者にも組合の重要さを考えてもらうことにつなげたい。

他乗務員職場より

分会運動がほとんど出来ていない中、若い人たちと交流を持ちながら、どう職場に労働運動を残していくか考え行

動している。管理者が「何でもやれ！チャレンジしろ！」と煽るだけ煽って、何のフォローもないことに若い社員は不信に思っている。乗務員としての誇りを持っている若い人たちの夢を壊すことはかりだ。

会社施策も組合交渉もなく、すごいスピードで実施されていることに若い人たちは改めて驚いている。過去、組合があったから、このスピード化も防いだきたのだと思う。若者たちをも一度組合に結集させたい。職場に労働運動を残したい。心残りをなくしたい。2025年に分会組合員はい

なくなる。そ

の準備もしなければならぬ。地本もタブー視せずに議論してほしい。

駅職場より

①分会は広範囲で、集まるのが難しい。執行委員会だけは定期開催してきた。要求の突き合せもコロナ禍で進まず、書類開催などでアンケート等に強力してもらおうなど、様々な連絡体制を密にして活動している。

分会再編の条件は、集まりやすさを考えるべきだと思ふ。

②2ヶ月に1回、職場集会を開催している。駅の一部委託職場では、休憩室の設備がひどく、社員数に対して広さが足りない。社員代表に訴えながら、代表の意義というものも訴えたい。

③車椅子対応などの仕事、現場社員任せと

仲間の発言に学ぼう！

施設職場より

①何処の線区も草ぼうぼうで、退避場所が危険な状態で、除草対策もないがしろになっている。草刈りも保線区内ではルール化されているが、他の駅職場などではどうなのか（心配）。

指令員の交代が早すぎるのでは？知識不足、対応不足（遅すぎる）が目立ち、指令員によって対応が異なるのも問題だ。指令員の教育強化が必要だ。



☆ 当分会からは他に「蘇我駅窓口の閉鎖の問題」を報告しましたが、数人から「絶対おかしいよね」の声を聞きました。